2016年度日本演劇学会秋の研究集会・タイムテーブル

12月3日（土）前夜祭

18:30–	シェイクスピア没後400年記念　新作能『オセロ』 19：00～（開場18:30）　ミニ・シンポジウム　19:45～　新作能《オセロ》上演　　シテ：辰巳満次郎（宝生流） 於：大江能楽堂　　アイ狂言　：茂山逸平（大蔵流）

12月4日（日）　研究集会

	会場：　神山ホール3階　（第1セミナー室、第2セミナー室、第3セミナー室）		
9:30 ―	受付		
9:45 – 10:00	開会式（第1セミナー室 ）		
	第1セミナー室	第2セミナー室	第3セミナー室（和室）
	司会（中筋　朋）	司会（桝井　智英）	司会（中尾　薫）
10:00 – 10:40	ドイツにおける「ハムレット」受容史 ードイツ国民演劇形成史 高橋　慎也（中央大学）	シェイクスピア劇と東北の民俗芸能 ー融合文化の事例を通して 平　辰彦（尚美学園大学）	キース・ジョンストンの インプロ理論における「失敗」の位置づけ 園部　友里恵（三重大学）
10:40 – 11:20	ロベール・ルパージュの「シェイクスピア三部作」に見られる支配する視線 神崎　舞（摂南大学）	福田恆存の「有間皇子」に見られる芸術観 奥　景子（明治大学大学院）	京王閣の「少女歌劇」 澤井　万七美（沖縄工業高等専門学校）
	司会（椋平　淳）	司会（安田　比呂志）	司会（木下　耕介）
11:20 – 12:00	シェイクスピア受容の日中比較試論 瀬戸　宏（摂南大学）	「ドンマー・トリロジー」の社会的意義 ー現代イギリスにおけるシェイクスピア劇のオールフィメイル上演 阪本　久美子（日本大学）	オニールとシェイクスピアにおける亡霊 ー彷徨う魂との対話ー 木下　律子（創価大学大学院）
12:00 – 12:40	データから見る 現代日本のシェイクスピア上演 末松　美知子（群馬大学）	シェイクスピア研究法～ローカル・グローバル：広義の書誌学的研究法を中心に 村上　健（津田塾大学）	トルストイと「リア王」 星野　立子（北海道教育大学）
12:40– 13:40	昼食（理事会 於：第二研究室棟1階会議室）		
	第1セミナー室		
13:40– 14:55	会長挨拶 講演①　松岡　和子　（司会：鈴木　雅恵）　一般公開 「シェイクスピア劇と翻訳」		
14:55– 15:40	講演②（英語講演）　XIONG Jieping 熊傑平　（司会：瀬戸　宏） *The Taming of the Shrew* adapted into a traditional Chinese theater (Hanju)「漢劇『馴悍記』の創作体験と反響」（仮題）　一般公開		
15:40– 15:50	＜休憩＞		
15:50– 17:20	Bilingual joint-panel :Is all the World Still a Stage? Shakespeare and Higher Education in Japan 二か国語パネルセッション：「世界はまだ舞台か？　シェイクスピア劇と日本の高等教育」 Panelists:Timothy　Medlock, Andrew Eglinton, Masaru Inoue and Masae Suzuki　一般公開 Commentaters :XIONG Jieping, Shoko Yonaha and .Jason Arcari		
17:20–	閉会挨拶		